

ごあいさつ



第 32 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会
会長 橋本 悟

京都府立医科大学集中治療部、橋本 悟でございます。このたび 2014 年 12 月 6 日(土)に第 32 回日本麻酔・集中治療テクノロジー学会を主催させていただきくことになりました。この場をお借りして皆様に深く感謝申し上げます。

今年の年次集会におけるメインテーマは「テクノロジーを活かす」とさせていただきました。振り返れば本学会が発足した 1983 年には携帯電話もなく、PC8001 が世に出て数年経ち、パソコンという言葉がようやく根付き出した頃でした。たった 16K のメモリしかなかったとは言え、BASIC、RS-232C などのテクノロジーを利用すれば、それまで一部の上級者しか手が出せないと思われていたことが現場でも応用できると皆熱く語っていたことを思い出します。翌年に刊行された「麻酔・集中治療とコンピュータ 1984」には本会の第 1 回の発表内容が掲載されています。その内容は今読ませていただいても大変興味深いものであり、我々の知的好奇心をくすぐります。ちなみに、本学会の抄録集はこれまで 30 冊の刊行物としてまとめられ、すべて学会ウェブサイトにて公開されています。どの号を見ましても皆様の素晴らしい発想、テクノロジーにあふれていますので、ぜひご一読ください。とはいえこのような素晴らしいテクノロジーを真に活かして医学に応用できているのかを真摯に考える時、まだまだ我々に残された課題は多いと言わざるを得ません。また、30 年前のあの熱き思いを忘れたのかも知れません。

今回はこの日本、いや世界のトップレベルを走る(!)我が学会にあらためて気合いを入れていただき、また皆様に新たなインスピレーションが湧きあがることを祈念して、各方面のテクノロジーの大家をお招きしました。どうかご期待下さい。

本学会年次集会が京都で開催されるのは 1997 年以来 17 年ぶり、2 度目となります。冬の京都は底冷えすると言われますが、皆様の熱気あふれる討論でその寒さが吹き飛ばす会になれば幸いです。皆様のご参加をスタッフ一同、心よりお待ち申し上げます。